

人権講話 「やけどのあと」

11月20日（木）

A子の母親には顔と左手にやけどのあと跡があります。やけどの後遺症で左手は自由に動かすことはできません。A子は母親に聞きます。「お母さん、そのやけどの跡どうしたの？」「この跡はね、小さい頃やかんをひっくりかえしちゃって、お母さんおっちょこちょいだから」

A子は自分の母親の顔にやけどの跡がある、そして左手を十分動かすことができないことが嫌で嫌でたまりません。ですから参観日の時も自分の母親であることを友だちに気付かれることが嫌で、参観日や保護者会の時はいつも暗い気持ちでいっぱいでした。

A子は5年生になりました。ある日、A子は忘れ物をしてしまいます。どうしても授業に必要なものだったのでA子は困っていました。電話をしてお母さんに持ってきてもらおうか。でも……。迷っていた時、友だちがA子に話しかけます。

「A子、廊下にお母さん来てるよ」A子はすぐに廊下に行きました。母親は笑顔でA子に話しかけます。「これ今日必要なものでしょう。お前が困ると思って持ってきたのよ。」

さあ、ここで皆さんに聞きたいと思います。A子は忘れ物を届けてくれた母親に何て言ったと思いますか。皆さんだったらなんて言いますか。A子はこんなふうに言いました。

「なんで学校に来るのよ。早く帰って。」それでも母親はA子の顔を見てニコッとほほえみながら忘れ物を渡して家に帰って行きました。A子はその後、一日中暗い気持ちでいました。なんで暗い気持ちでいたと思いますか。「忘れ物を届けてくれたお母さんに私はなんてひどいことを言ってしまったのだろう。」「あーお母さんをまた困らせてしまった」そうではないのです。友だちが自分の母親のやけどの跡に気づき、母親のことを陰でコソコソ話しているのではないか、それが気になって仕方がなかったからなのです。それで一日中暗い気持ちだったのです。母親に対してごめんなさいという気持ち、感謝する優しさ、心の余裕なんてこれっぽっちもありませんでした。

ある夜、父親がA子に話をします。

「A子、大事な話があるんだ。実はね。お母さんのやけどのことなんだ。お母さんは小さい頃、やかんをひっくりかえしたって言ったけど実は違うんだよ。お前が1歳の時、火事があってお父さんはその時仕事で家にいなかったんだ。お母さんとお前の2人だけで寝ていて、目が覚めた時はもう周りは火の海。お母さんはとっさに毛布をお風呂の水につけてその毛布でお前を包み、必死の思いで外に出た。

実はやけどの跡はその時のものなんだよ。お母さんはお前に、生きていく中で心に負担を負わせたくないから絶対に話さないでほしいと言ってたんだけどやっぱり真実を知らせておくべきだと思って今日思い切って話したんだ。お母さんの幸せって何か知ってるかい。お母さんはね。お前がどんどんどんどん大きくなり、成長していく姿を見て幸せを感じているんだよ。元気に生きていてくれてありがとうって。もしかしたら、火事の時、火に包まれて死んでいたかもしれないんだから。」A子はハッとしました。お母さんは命をかけて自分の命を守ってくれたのに私はなんてことを……。今までお母さんに対して辛くあたり、お母さんを苦しめていた自分が恥ずかしくなりました。A子は母親の膝の上で泣きました。ありがとうありがとうって。言葉にはならなかったけどひたすら泣きました。

誰も好きで障害者になる人はいません。皆さんにできることは、障害があるために日常生活に様々な不自由があるということを理解し、障害がある人の立場に立って、お互い支え合って生きていくことではないかと思います。例えば目の不自由な人、足の不自由な人、耳が聞こえにくい人、様々な障害を抱えて生活されている人もいます。すばやく動こうと思ってもなかなか上手くいかず、歯がゆい思いをしている人もいるわけです。

本来、どんな状況であっても、人を見た目や姿で判断し、差別意識をもつなんて絶対あってはならないことなのです。しかし、A子の場合を考えてみてください。自分の身内であるそれも自分を産んでくれた母親に対しても差別意識をもっていたのです。ましてや自分とは全然関わりのない人であつたらどうなると思いますか。自分には関係ないからといって無関心になるのか。それとも差別や偏見意識をもってしまうのか。どちらもよいこととは言えません。

熊谷西小学校の児童の皆さん。これからも誰に対しても優しく接し、思いやりのある行動をしましょう。そして友達のよいところをたくさん見つけて、楽しい学校生活を送りましょう。

皆さんも知っているかと思いますが、今月の15日に耳の不自由な方を対象とした国際大会「テフリンピック・東京大会」が始まりました。耳の不自由な方もその困難と闘いながら全力で競技を行っています。校長先生も頑張っている選手を応援したいと思っています。

以上でお話を終わります。